

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(平成29年度対象)



平成30年6月

酒々井町教育委員会

1 はじめに

この報告書は、

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（第26条）の規定に基づき、平成29年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用して点検及び評価を行い、作成・公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

酒々井町教育委員会教育長及び教育委員名簿（平成30年4月1日現在）

職 名	氏 名
教 育 長	木 村 俊 幸
教育長職務代理者	石 井 國 治
委 員	村 重 浩 二
委 員	林 洋 子
委 員	浦 壁 京 子

2 教育委員会会議の開催状況等

教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて「臨時会」を開催します。平成29年度は定例会を12回開催しました。

また、教育委員会の所管事項について調査・研究する委員協議会（意見交換会）を平成29年度は18回開催しました。（定例教育委員会会議に関する意見交換、教科用図書に関する意見交換など。）

3 教育委員会会議での審議状況

酒々井町教育委員会行政組織規則第5条の規定に基づき、平成29年度は合計で23件について審議しました。

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針・・・・・・・・・・1件
- (2) 教育委員会規則及び訓令を制定及び改廃・・・・・・・・4件
- (3) 予算その他議会の議決を要する事件についての意見申出・・・7件
- (4) 教育に関する事務の点検・評価に関する事・・・・・・・・1件
- (5) 附属機関の委員の委嘱・・・・・・・・・・・・・8件
- (6) 教科書その他の教材の取り扱い方針に関する事・・・・・・・・1件
- (7) 教育委員会の各表彰規程に基づく表彰・・・・・・・・・・1件

規則に基づく審議案件の他、報告事項、協議事項についても取り扱いました。

報告事項（33件）の概要

- (1) 教育委員会の各種行事等の報告・・・・・・・・・・12件
- (2) 町予算の議決に関する報告・・・・・・・・・・・・・6件
- (3) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15件

協議事項（1件）の概要

- (1) 選出依頼のあった各種協議会等の委員の選考・・・・・・・・1件

月別の主な審議議案等の概要

実施月	審議議案	報告事項	協議事項	主な審議案件等
4月定例会	3	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・附属機関等委員の委嘱 ・公民館定期休館日の特例規則の一部改正
5月定例会	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ・6月補正予算（案） ・私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正
6月定例会	2	6		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会の点検・評価報告書（案） ・附属機関等委員の委嘱
7月定例会	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・教科用図書の採択 ・工事請負契約の締結
8月定例会	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・9月補正予算（案）
9月定例会		3		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館休館日の開館
10月定例会		1		<ul style="list-style-type: none"> ・9月補正予算の議決結果
11月定例会	1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・12月補正予算（案）
12月定例会		2		<ul style="list-style-type: none"> ・12月補正予算の議決結果
1月定例会	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会被表彰者の選考
2月定例会	4	4		<ul style="list-style-type: none"> ・附属機関等委員の委嘱 ・3月補正予算（案） ・新年度当初予算（案）
3月定例会	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・教育施策の策定 ・補正予算、当初予算の議決結果
合計	23	33	1	

4 事務事業の点検・評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、平成29年度教育委員会の基本理念、重点施策、推進目標に基づく、各課、教育機関における主要事業を中心に、33事業について点検・評価を行いました。

5 点検・評価の方法

点検・評価の実施にあたり、教育委員会事務局で作成した「教育施策評価表」により実施しました。

評価は、主要事業の取り組み状況（達成度）について、実績・成果・課題を記述し、AからEの5段階で評価するとともに、今後の方向性を、拡大、現状維持、改善、統合、期限付、休止、廃止の7段階に評価する方法で行いました。

なお、法の規定に基づき、学識経験者3名にご意見をいただきました。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している
- B おおむね順調に達成している
- C 達成見込みであるが課題がある
- D 達成できなかった
- E その他

(2) 方針の分類（今後の方向性）

- 拡大・・・事業を拡大充実する
- 現状維持・・・現状を維持継続していく
- 改善・・・対応すべき改善対策を付して事業を継続する
- 統合・・・独立した事業とせずに他の事業へ含める
- 期限付・・・終期を設定して、そのまま事業を継続する
- 休止・・・事業を休止する（復活の可能性あり）
- 廃止・・・事業をやめる

6 点検・評価の結果

事務事業評価表により点検・評価を実施した33事業の結果は、次のとおりです。また、詳細については、「平成29年度教育施策評価一覧表」を添付しました。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している・・・20事業
- B おおむね順調に達成している・・・9事業

- C 達成見込みであるが課題がある・・・ 2事業
- D 達成できなかった・・・ 2事業

(2) 方針の分類 (今後の方向性)

- 現状維持・・・ 25事業
- 改善・・・ 8事業

7 まとめ

当町教育委員会では、課題の取り組みや方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たし、信頼される教育委員会を目指すひとつの方策として点検・評価を実施しました。

また、平成29年度酒々井町教育施策として策定した基本理念「しなやかに・・・すこやかに・・・いきいきと・・・」に基づき、重点施策、推進目標を策定し、これらに基づく各課、教育機関における主要事業について、点検・評価を行いました。

評価を実施した主要事業については、事業の目的に従い、計画的に実施されていることから、概ね適正かつ順調に執行されたものと判断していますが、実施方法に工夫や改善が必要である事業も見受けられますので、次年度の予算編成や事業計画を策定する上で検討を重ね、さらに町民の皆様のご意見を取り入れながら、高まる教育ニーズに対応することが必要であると考えています。

なお、今回の点検・評価の結果については、町ホームページによる公表を行いますので、町民の皆様からご意見等をいただき、今後の事務事業の執行に反映させていきたいと考えています。

※ 評価委員会委員

職 名	氏 名
委員長	久本 邦夫
委員	長谷川 睦
委員	柳 橋 幸雄

平成29年度事業に係る評価委員会開催状況

- 第1回 平成29年 9月 7日 (木)
- 第2回 平成30年 5月31日 (木)

平成29年度 教育 施策 体系 図



人 自然 歴史が調和した活力あふれるまち 酒々井（将来都市像）

豊かな心を育み歴史を活かした文化創造のまちづくり 教育文化（基本目標）

しなやかに すこやかに いきいきと生きる人づくり（基本理念）

分野	重点的な取組	主な施策	主な事業
1 学校教育	(1) 教育環境の充実	・学校施設、設備の整備と改修・給食施設設備の改修等 ・通学路の安全確保	・酒々井小学校グラウンド改修・酒々井小学校用地公有地化 ・大室台小学校雨水排水改修・酒々井中学校グラウンド拡張・スクールバス運行 ・通学路安全点検・食材放射線測定
	(2) 確かな学力の向上	・学習の手引きの活用・地域人材の活用 ・きめ細かな指導体制の推進・特別支援教育の充実	・スクールサポート指導員、小学校スクール支援員（理科）の配置・就学支援委員会の開催 ・介助員の配置・スクールボランティアによる学校支援
	(3) 豊かな心の育成	・学校図書館の充実と読書活動の推進 ・いじめ防止対策の推進・適応指導の推進 ・地域とともに歩む学校づくりの推進	・ネットパトロール及びいじめに関する実態調査・図書館アシスタントの配置 ・朝読書の促進・学校適応専門相談員の配置・ケース会議の開催 ・大学等との相互協力・警察と関係機関との連携協力
	(4) 教職員の資質能力の向上	・各種研修会の開催・教職員の教育研究活動への支援 ・適切な評価の活用	・教育活動への助成・職種や経験年数及び教科領域に関する研修会の充実 ・自己評価、学校関係者評価及び第三者評価
	(5) 特色ある教育活動の推進	・人権同和教育の推進・環境教育の充実 ・国際理解教育の推進・保小中連携の推進 ・あいさつ運動の推進・郷土を愛する心の涵養	・小学校の外国語活動、中学校の英語指導充実・ALTの活用・保小中連携推進・部活動の支援 ・人権、同和教育の推進・中学生国際交流派遣事業・中学3年生への英検受験料助成 ・豊かな心を育むCTSプラン・小中連携指導5項目の推進・研究校の指定（人権同和教育、小中体連）・ふるさと学習（仮称「酒々井学」）カリキュラムの作成
	(6) 幼児教育の充実	・教育内容の改善・幼児教育に係る支援	・私立幼稚園就園奨励費補助、運営等補助・保育園児への英語活動、体育活動及び情操教育
	(7) 健康・体力づくりと食育の推進	・体力、運動能力の向上・競技力の向上・安全安心な給食の提供・食育推進・食物アレルギー対応	・部活動等への支援（外部指導者等の活用）・地元産食材の積極的な利用・食材放射線測定 ・栄養士による栄養指導・食物アレルギー対応（お知らせ提供、除去食提供）
2 社会教育	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	・ライフステージに応じた生涯学習プログラムの充実 ・指導者等の育成・学習サークル活動への支援 ・学習情報の提供の充実・人権に関する関心の高揚 ・各種イベントの開催・公民館等主催講座の充実と学習成果の活用	・成人式及び盛年式の開催・まちづくりフォーラムの開催（町長部局と共催） ・学習サークル一覧の作成・人権教育セミナーの開催・しすい青樹堂の開催 ・青樹堂師範塾の開催
	(2) 生涯学習の推進体制の整備	・人材養成とその活用・学校教育への支援・社会教育委員との連携・地域づくりに係る組織化の推進	・学校教育の支援促進・地域未来塾の開催・土曜日の教育支援体制等の構築 ・社会教育委員会議等の充実
	(3) 学習関連施設の整備	・施設、機器の維持管理・施設の円滑な運営と利用促進 ・子ども読書活動の推進	・公民館の維持管理及び改修・公民館施設耐震補強 ・プリミエールの管理運営及び施設拡張・図書等の拡充・読書通帳の発行 ・おはなし会の開催
3 スポーツ	(1) スポーツに参加できる環境の整備	・体育施設の整備検討・学校体育施設の活用促進 ・指導者の確保、養成・参加する機会の拡充と情報提供の充実	・町民体育館等活動の場となる体育施設整備の検討・指導者講習会への参加促進 ・スポーツ推進委員連絡協議会への助成・年間スポーツ行事一覧の作成
	(2) スポーツ活動への支援	・スポーツ関係団体への支援 ・スポーツ大会の開催	・各種スポーツ教室、大会等の開催・第68回印旛郡市民体育大会（主会場地：酒々井町） ・体育協会への助成
4 青少年の育成	(1) 家庭の教育力の向上	・保護者等への支援・広報活動の充実・基本的な生活習慣習得への支援・家庭学習の充実促進	・家庭教育学級の開催・家庭教育に関する広報啓発活動 ・早寝早起き朝ごはん運動の実施・ノースマホデーの実施
	(2) 地域の教育力の向上	・子どもの社会参加の促進・学校教育への支援、協働 ・あいさつ運動の推進	・子ども会活動・青少年相談員による各種イベントの開催・北海道陸別町との児童交流 ・青少年おもてなしカレッジの開催・地域行事への参加（ゴミゼロ等）・学校支援地域本部
5 文化芸術	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承	・文化財の保護と活用・郷土芸能の保存、伝承の支援	・郷土研究会への助成・ボランティアガイドの育成、活用・本佐倉城跡の保存整備 ・史跡ウォーキング・文化財管理及び歴史的文書の保存利活用 ・まちの顔づくりの推進・墨古沢南1遺跡の発掘調査
	(2) 文化活動の振興	・文化団体への支援・情報提供の充実・参加者の拡大	・文化協会への助成・町民文化祭の開催及び実行委員会への支援・年間文化行事一覧の作成
6 国際交流 平和教育	(1) 国際人の育成推進	・英語力の向上とグローバル人材の育成・国際交流の拡大	・中学生のオーストラリア及びドイツへの派遣
	(2) 平和を希求する意識の高揚	・命を大切に教育・環境教育・人権教育	・人権教育セミナーの開催
7 教育行政の推進	(1) よりよい地域・学校づくり	・積極的な教育委員活動・教育委員会の活性化	・積極的な学校訪問及び意見交換会の開催
	(2) 教育事業の説明の推進	・学校地域における要望等の把握	・教育委員会会議の開催及び会議結果等の広報活動・教育や学校に関するニーズ調査 ・ホームページ及び学校だよりの有効活用・教育委員会の点検評価・教育委員会表彰の実施

教育委員会の点検・評価

平成29年度

教育施策評価一覧表

平成29年度 教育施策評価表

	所属名 こども課
分野	1 学校教育
重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な事業	酒々井小学校グラウンド改修
事業の概要	酒々井小学校のグラウンドは、経年の使用により泥土化し、排水機能が著しく悪化している。特に、霜が降りる時期は、終日グラウンドが使用できないこともあるため、表土をグリーンダストにより改良し、排水機能を回復させる工事を実施する。 7月上旬入札⇒8月末日までに工事終了予定

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		0	9,546
	入札：7月11日（制限付一般競争入札）、契約日：7月12日 工期：7月13日～8月31日（8月中の天候不順の影響により、9月11日まで延長の契約変更を締結しました。） グラウンド6,150㎡の改修工事（グリーンダスト）を実施した。学校からの聞き取りでは、工事前と比べて降雨や降霜の影響が少なくなり、円滑な授業等の実施に繋がっている、とのことであり、相当の効果があったものと捉えている。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見
---------	-------------------------

平成29年度 教育施策評価表

	所属名 こども課
分野	1 学校教育
重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な事業	大室台小学校雨水排水管改修
事業の概要	大室台小学校特別棟の雨水排水管は、経年の使用により腐食が進み、穴があった箇所が見られる状態となったため、改修工事を実施する。 10月下旬入札⇒12月末日までに工事終了予定

3月末の状況

取組状況 (達成度)	D 達成できなかった		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		0	0
	予算編成時と執行時の現況に変化があり、現場再調査に時間を要したことにより、工事に必要な作業車の年度内の確保が困難となったため、入札を見送った。 今後は、早期に着手できるよう、諸調整を進める。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。) 工事に必要な作業車の手配と入札時期等の一致を図ることができるよう、スケジュールの調整に慎重を期したい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	できるだけ早期に実施できるよう努めていただきたい。
---------	---------------------------

平成29年度 教育施策評価表

	所属名	こども課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の充実	
主な事業	酒々井中学校グラウンド拡張	
事業の概要	酒々井中学校のグラウンド拡張事業として、①基本設計業務委託②不動産鑑定評価業務委託を実施する。併せて、拡張予定地内の地権者に事業説明を行うとともに、用地購入に向けた交渉を行う。 ①7月上旬入札⇒年度内に完了予定 ②8月中に完了予定	

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		22,030	49,170
	グラウンドの拡張整備に向け、基本設計業務を委託し、年度内に完了した。また、地権者の協力を得て、2筆・4,855.97㎡(43,704千円)の用地買収を行った。用地買収に関連して、不動産鑑定評価、土地登記事務委託等を併せて実施した。 今後は、実施可能な箇所から施設整備を実施するとともに、事業に必要な用地の買収に向け、引き続き地権者への事業説明を行う。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	生徒の安全で充実した中学校生活に向け、できるだけ早く拡張整備が進められるよう期待します。
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

	所属名 こども課
分野	7 教育行政の推進
重点的な取組	(1) よりよい地域・学校づくり
主な事業	積極的な学校訪問及び意見交換会の実施
事業の概要	各小中学校の教育活動を理解し、学校現場の声を理解するとともに、児童・生徒の学校生活への取り組みを確認するため、積極的に学校訪問を行う。併せて、学校施設の現状を確認する。 教育行政の課題等について、共通理解を深めるため、教育長及び教育委員による意見交換会を積極的に実施する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		1,914	1,881
	各小中学校を訪問し、授業参観・施設見学を行った。その際、管理職及び教職員と懇談を行ったほか、児童生徒との交流を通して各学校の教育活動の実情の理解に努めた。学校訪問等で確認された課題等について、定例会議などで問題提起するなど、教育行政の充実に向け成果を上げた。 教育長及び教育委員による意見交換会を積極的に開催し、教育行政に係る諸課題等について協議した。また、事務局職員との意見交換も活発に行い、諸課題の共有に努めた。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	教育委員会が定期的に学校を訪問し、現地確認や懇談の場を設け、学校と直接意見交換ができる環境を構築しており、評価できます。訪問の成果を十分に反映できるよう期待します。
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

分野	1 学校教育
重点的な取組	(1) 教育環境の充実
主な事業	スクールバスの運行
事業の概要	小学校への通学が不便な子どもたちを援助するため、墨地区には町所有のスクールバスを伊籾・馬橋地区には町社会福祉協議会に委託したバスを運行する。いずれの利用料金も町が負担する。なお、京成電鉄を利用する下岩橋地区の児童の利用料金も町が負担する。

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		13,460	16,010
課題・問題点	シルバー人材センターの運転手の人員が少ないことから、学校教育課が分担している墨方面のバス運行に影響がないか不安である。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見	スクールバスの運行により、児童の登校状況が良くなっています。今後は、バスを待つ間の安全対策等についても検討していただきたい。また、引き続き、通学路の安全点検もお願いします。
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

分野	1 学校教育
重点的な取組	(2) 確かな学力の向上
主な事業	就学支援委員会の開催
事業の概要	児童生徒たちの将来の自立や社会参加を見通し一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行う観点から、年間3回（8月に1回・11月に2回開催）学識経験者、学校医、各学校担当者など様々な分野の専門家が集まり就学支援委員会を開催し、児童・生徒の適切な就学先について答申する。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		95	95
	予定通り8月に1回、11月に2回の就学支援委員会が開催され、町内の特別な支援を必要とする児童生徒の適切な就学について協議することができた。		
課題・問題点	現状では、就学時健康診断の二次検査では、発達検査を各小学校の教員に依頼している。今後は、専門的知識や資格を有する大学院生等の活用を考えていきたい。 (H30年度は、報償費を185,000円に増額して外部依頼済み。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input checked="" type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	---



評価委員の意見	委員会での協議結果をいかに保護者やお子さんに還元していくか、課題は多いと思われるが、お子さんに大きく関係するポイントであるので、尽力をお願いしたい。また、就学時健診に専門的知識や資格を有する者の活用とあるが、重要なポイントであるので、慎重に検討していただきたい。
---------	---

平成29年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

分野	1 学校教育
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成
主な事業	ネットパトロール及びいじめに関する実態調査
事業の概要	<p>各学校ごとにいじめの実態を把握するため、年間3回いじめ実態調査を行います。教職員ひとりひとりがいじめ問題の重要性を認識し、常に危機意識をもっていじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組みます。</p> <p>また、専門業者にネットパトロールの実施を委託し、子どもたちのスマートフォン等のトラブル防止に努めます。</p>

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		96	96
課題・問題点	<p>各小中学校の生徒指導部を対象にした研修会を町教委主催で複数回開催し、いじめ問題に組織で対応できるように努めている。また、各小中学校の生徒指導体制及び教育相談体制の充実を図り、いじめの未然防止・早期対応・早期解決に努めることができた。SNS等のトラブルについては、ネットパトロールを実施することで、未然防止と早期発見に努めることができた。</p> <p>スマートフォン等によるSNS、ラインのトラブルについては指導している。子ども達だけに周知するだけでなく、保護者に対する注意喚起を行うことやトラブルをなくすための効果的な方策を今後も検討していく。</p>		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

分野	1 学校教育
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な事業	小学校の外国語活動、中学校の英語指導の充実
事業の概要	低・中学年では3週間に1時間、高学年では週1時間学級担任とALTによるティームティーチングによる授業を実施します。小学校では英語に関心を持つことやコミュニケーション能力の素地を養います。また、中学校では英語のみを使った授業やデジタル教科書などICTを活用した授業を行い、コミュニケーション能力の基礎を養います。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		7,940	12,053
	小学校低・中学年における外国語活動は、予定通り3週間に1時間の学習時間を確保できた。また、高学年は週1時間の英語活動を確保できた。中学校は、教員とALTによるデジタル教科書を活用した授業も実施している。これによって英語に対する興味関心も高まり、英語検定に挑戦し、自ら英語習得をしようとする意識が高まっている。		
課題・問題点	小学校では、平成32年度の完全実施に向けた移行期間中の教員研修と外国語の支援スタッフの配置を考える必要がある。 (H30年度から英語専科教員を小学校に1名ずつ配置して対応)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	充実した配置であるので、担任・ALT・英語指導員の役割分担や協力体制を確立し、児童生徒の英語習得につなげられるよう期待します。
---------	---

平成29年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

分野	1 学校教育
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な事業	A L T の活用
事業の概要	小中学校における国際理解教育を推進するため、A L T を各小中学校に一人ずつ配置し、チームティーチングによる指導を中心にして、コミュニケーション能力の向上を図る授業を行う。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		7,940	12,053
	平成29年度よりA L T を各学校に1名配置したことにより、充実した英語学習が実現できている。特に小学校低学年・中学年では、A L T と連携しながら、年間計画に沿った外国語活動が実施できた。中学校においては授業だけでなく、スピーチコンテストの指導等にもA L T が関わり、コミュニケーション能力の育成に努めることができた。		
課題・問題点	小学校では、平成32年度に向けて、A L T とともに充実した教育内容を検討し外国語の完全実施に備えたい。 (H30年度から英語専科教員を小学校に1名ずつ配置して対応)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input checked="" type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見
---------	-------------------------

平成29年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

分野	1 学校教育
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な事業	中学生国際交流派遣事業
事業の概要	酒々井中学校の生徒をドイツ（10名）、オーストラリア（20名）へ派遣し、子どもたちの英語力向上を目指します。また、現地でのホームステイや様々な体験を通じて、酒々井町の未来を担う子どもたちに世界を見据えた広い視野の育成を図る。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		4, 737	7, 842
実績・成果	今年度はオーストラリアに20名、ドイツには10名の生徒を派遣した。現地ではホームステイ体験から他国の文化にふれることができ、解団式では体験したことや感想をしっかりと述べる事ができた。また、全校生徒の前でも堂々とした姿で感想を述べている。		
課題・問題点	本事業実施6年目を迎え、年々希望者が増えてきており、本年度は二カ国に事業拡大を図っている。今後、両国ともバランスよい人数派遣を考慮したい。経済的困窮状況にある家庭が参加しづらい状況にある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	<div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div>
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

分野	1 学校教育
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な事業	小中連携指導5項目の推進
事業の概要	小中学校において挨拶、掃除、時間、聞く、話すを重点項目とし、学校生活において子どもたちに意識させて活動させるようにする。また、5項目に関する評価を行い子どもたちの指導に活用する。特に挨拶については、小中交流あいさつ運動を行い、学校周辺で地域の方々や子どもたちに元気な挨拶を率先して行う。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		300	300
	6月に特別支援学級小中交流会、10月には小中合唱発表交流会を実施し、町内の児童生徒の集まる場において、積極的に連携指導5項目について啓発している。特に挨拶については、12月に小中学校のあいさつ運動を行い、中学生が小学校に出向いて挨拶を啓発するキャンペーンを行った。		
課題・問題点	小学校の児童会や各種委員会、そして中学校の生徒会が中心になり、連携指導5項目について今後も継続的に啓発を続けていく。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見	地域でのあいさつは、犯罪の抑止力にもなるので、児童生徒のみならず、我々地域住民も連携していくべき課題と考えます。
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

分野	1 学校教育
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な事業	研究校の指定（人権同和教育、小中体連）
事業の概要	町人権教育推進校に酒々井中と大室台小を指定し、学校での生活や学習活動の中で、自己有用感を高めたり、他人の心を思いやれる子どもの育成を目指す中心的な役割を担う。また、酒々井中学校は平成28・29年度小中体連の研究校にも指定され、体育活動の中で研究を重ね、子どもたちの健全な育成を目指す。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		500	300
課題・問題点	人権に対する意識を今後も学校教育活動の中でさらに高めていきたい。また人権教育をさらに盛んにしていくことが、9年間の義務教育を行う上で、非常に効果があるため、今後も保小中連携事業を活用し、児童生徒や地域に啓発を行っていく。酒々井中学校の体育科学習の成果である能率的で規律ある集団のあり方については学校生活の中で意識させていく。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	---



評価委員の意見	
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

分野	1 学校教育
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進
主な事業	ふるさと学習「酒々井学」カリキュラムの作成
事業の概要	本年度より教育ファシリテーターを配置し、酒々井町を様々な観点から検証し、子どもたちが郷土を愛する心を育むための教育プログラム作成の中心となり活動を行う。ふるさと学習では、それぞれの分野に精通している町内の人材の協力を得て、将来も地元で生活し、地域で活躍する人材の育成を目指す。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		0	3,467
	教育ファシリテーターが中心になり、各学校の地域教材の学習整理を行った。整理した学習プログラムは、教職員用の「酒々井学」の学習指導冊子に取りまとめる構想を作成した。		
課題・問題点	地域資源の有効な活用を今後も計画実施する。次年度は「酒々井学」の教職員向け冊子の編集と酒々井町の歴史年表、各学校の地域資料室の充実にも取り組む必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見	
---------	--------------

平成29年度 教育施策評価表

担当課	学校教育課
-----	-------

分野	4 青少年の育成
重点的な取組	(1) 家庭の教育力の向上
主な事業	ノースマホデーの実施
事業の概要	子どもたちの健全な育成を図るため、スマートフォンを持っている児童・生徒の適正な利用について啓発する。この取組みを行う際には、学校・家庭・教育委員会が連携し、それぞれの立場から意見を出し合い利用に関するきまりを作成し、地域一体となり、子どもたちの成長を見守る。

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		0	0
課題・問題点	<p>各小中学校では、パソコン学習の中でネット関係の学習を行うと同時に最近、被害が拡大しているSNSやライン等のトラブルについて学級指導だけでなく、学校集会で啓発講話を行っている。特に中学校ではスマートフォンの所持が増えていることからPTAと連携して「利用の約束」について啓発文書を作成して各家庭に配付した。</p> <p>今後も学校と家庭が連携して取り組みを継続する必要がある。教育委員会は今後も児童生徒への啓発活動を支援する。</p>		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



評価委員の意見	
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	
主な事業	人権教育セミナーの開催	
事業の概要	様々な人権に関する問題に気付き、それらを家庭、職場、学校あるいは地域社会で語り合うことができるための学習機会を提供する。 *年間6回開催	

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		486	465
	第1回：差別戒名と部落差別の始まり 40名参加。第2回：ピンチをチャンスに変えるキュートな生き方！ 240名参加。第3回：あなたは他人（ひと）の話を聞けますか。ーことばによる気持ちの伝達ー 202名参加。第4回：「裁判员～選ばれ、そして見えてきたもの～」ー映画上映会ー 70名参加。第5回：がんばっぺ！オラの大好きな日本 208名参加。第6回：命の授業～ドリー夢メーカーと今を生きる～ 165名参加。合計925名参加。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(2) 生涯学習の推進体制の整備	
主な事業	学校教育の支援促進	
事業の概要	教育活動のさらなる充実及び発展を図るために地域社会の協力のもと各校に学校支援地域本部を設置し、コーディネーターが中心となって年間をおし学校支援に取り組む。	

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		2,239	2,449
	町内小中学校それぞれのコーディネーターを中心に、地域住民や保護者の協力を得て、ミシン指導の補助やプール監督補助等の授業支援、環境整備、行事での駐車場案内等を行った。		
	酒々井中学校地域未来塾では、コーディネーターを中心とし、学習支援員の協力の元、54名の希望者を対象に数学と英語の学習支援を行った。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	中学校地域未来塾については、補習的な意味合いも含まれていると思われるが、得意な教科をさらに深く学べるような意味合いを持たせても、「未来塾」の名にふさわしい支援につながるものと思われます。様々な生徒の参加により、充実した事業となることを期待します。
---------	---

平成29年度 教育施策評価表

担当課 生涯学習課

分 野	2 社会教育
重点的な取組	(2) 生涯学習の推進体制の整備
主な事業	土曜日の教育支援体制等の構築
事業の概要	子どもたちの豊かな人間形成を育み、確かな学力の定着に向けた学習プログラムを提供することを目的とし、休業日である土曜日に子どもたちが進んで学習や活動に取り組む場として開設する。 対象：町内小学校3・4年生17人、5・6年生28人 参考：3・4年生クラスは、公民館事業こども青樹堂として平成22年度開始

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		886	1,139
	小学3・4年生対象の「こども青樹堂」では児童17名に全16回の学習会を実施し、国語（漢字の読み書き・意味等）・算数（加減乗除）等の基礎の学び方を学習することで自主的な学習活動を支えた。 小学5・6年生対象の「土曜塾」では児童28名に全16回の学習会を実施し、算数・国語の基礎基本習熟と発展的な学習指導を行った。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

担当課 生涯学習課

分野	3 スポーツ
重点的な取組	(2) スポーツ活動への支援
主な事業	各種スポーツ教室・大会等の開催
事業の概要	スポーツ推進委員・体育協会など各種団体の役割に応じた各種スポーツ大会教室などを引き続き開催する。 また、町民のニーズにあった教室や大会を開催することにより、健康づくりや仲間づくりのきっかけを作る。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		3,620	3,822
	各種団体が役割に応じ、スポーツ大会・レクリエーション大会を開催し、延べ4,460人(28年度4,718人、27年度4,216人)の参加者を得、スポーツの振興、健康体力づくりのきっかけを作った。		
課題・問題点	いままで、スポーツ大会・レクリエーション大会等に参加したことのない新たな参加者を確保し、健康体力づくり・仲間づくりをするため、町民のニーズに合った大会の開催、PRの充実に努める必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

担当課	生涯学習課
-----	-------

分野	3 スポーツ
重点的な取組	(2) スポーツ活動への支援
主な事業	第68回印旛郡市民体育大会 開会式・閉会式の開催
事業の概要	8市町持ち回りの第68回印旛郡市民体育大会 開会式・閉会式をプリミエール酒々井及び中央公民館で開催する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
	第68回印旛郡市民体育大会 総合開会式を7月1日にプリミエール酒々井で、総合閉会式を8月26日に中央公民館で開催した。		
		
		
課題・問題点	(*取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		
		
		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見

平成29年度 教育施策評価表

		担当課	生涯学習課
分 野	4 青少年の育成		
重点的な取組	(1) 家庭の教育力の向上		
主な事業	家庭教育学級の開催		
事業の概要	様々な体験や活動を通して、家庭における教育力の向上を図る。 家庭教育学級の講座の情報提供を実施することで、学級生の企画力を支援し講座内容の充実を図る。		

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		991	1,051
	ローズマリー学級11回開催、酒々井小家庭教育学級7回開催、大室台小家庭教育学級7回開催、酒々井中家庭教育学級7回開催など実施した。 各学級では、食育のための料理教室、教育講演会への参加、心肺蘇生法・応急措置やフラワーアレンジメントなどの体験教室、施設や学校等の視察等を実施した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	_____ _____ _____		
---------	-------------------------	--	--

平成29年度 教育施策評価表

	担当課 生涯学習課
分野	4 青少年の育成
重点的な取組	(2) 地域の教育力の向上
主な事業	北海道陸別町との児童交流
事業の概要	町の次代を担う子どもたちの成長のため、異なる環境に触れ体験する機会を与え、また、陸別町の児童との交流を図ることで、子どもたちの視野を広げることを目的に実施する。 募集人員：20名（引率者4名）

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		1,962	1,552
	8月23日～25日に、町内の小学6年生20名と引率4名とで北海道陸別町児童交流事業を実施した。7月24日の結団式に始まり、3日間の事前学習を経て、陸別町役場表敬訪問や陸別小学校での交流、関寛齋資料館などでの学習、銀河の森天文台での天体観測などを体験した。 交流会係、食事・保健係など、一人一人が役割を持ち、責任感を持って行動することができた。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

担当課 生涯学習課

分野	5 文化芸術
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承
主な事業	本佐倉城跡整備事業の実施
事業の概要	「本佐倉城跡整備基本設計」に基づき、入口広場整備工事として、トイレ管理詰所等建築工事に先立つ上水道引込み工事及び設計作業を実施する。併せて一部未公有地となっている国史跡内用地について公有地化を行う。またボランティアガイドと協働して見学会を実施するほか公民館、本庁舎玄関で展示を行う。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	D 達成できなかった		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		9,328	8,061
	入口広場整備事業の一環として上水道の敷設工事を実施予定だったが、詳細設計を行ったところ当初の想定予算より多額の費用がかかることが判明したため、工事は来年度実施となった。一部未公有地となっていた国史跡内用地については、2月下旬には契約・登記等の事務手続きも完了し、公有地化が完了した。普及活動としては3月11日に佐倉市・ボランティアガイドと共催で見学会を実施したほか、公民館ロビーや役場本庁舎入口での展示を継続して実施した。		
課題・問題点	水道工事については平成30年度当初予算に計上済みであり、今後は実施に向けての準備・調整を行う。また城跡の今後の整備事業工程、指定地拡大の詳細については、町実施計画及び予算面と調整しながら、国・県と協議して検討を引き続き行っていく必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

		担当課	生涯学習課
分野	5 文化芸術		
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承		
主な事業	まちの顔づくり推進事業		
事業の概要	江戸時代に栄えた旧酒々井宿を「酒々井町の顔」として町並み保存・整備を進めるため、平成28年度に引き続き地方創生交付金を活用して交流支援拠点整備マスタープランの作成を実施する。		

3月末の状況

取組状況 (達成度)	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		9,240	2,884
	平成28年度から2か年かけて行っていた、町並み保存整備・活用のための交流支援拠点整備に係るマスタープラン「歴史文化保存活用基本計画」の作成は、地方創生交付金を活用して3月末に終了した。		
課題・問題点	具体的な町並み整備・内容については、現在まちづくり課で進めている景観計画との整合性を図りながら、引き続き県やまちづくり課と協議を行い、検討を進める必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	この事業は、地域住民も関心を持って見守っているのので、機会あるごとに回覧などで内容を示し、啓発していただけるよう要望します。		
---------	--	--	--

平成29年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
分野	5 文化芸術	
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承	
主な事業	墨古沢南 I 遺跡保存整備事業	
事業の概要	墨古沢南 I 遺跡の旧石器時代「環状ブロック群」について国史跡指定を目指し、保存整備事業を進める。本年度は平成27年度に実施した環状ブロック群の本体東側の補足調査や北側・東側の範囲確認調査を実施する。また、今後の調査整備を的確に進めるため調査指導委員会を継続して開催する。周知・普及事業としては、墨古沢南 I 遺跡及び奈良二彩の展示会を行う。	

3月末の状況

取組状況 (達成度)	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		8,811	14,032
	10月より3カ月間、平成27年度の補足調査や北側・東側の範囲確認調査を補助金を活用して実施し、環状ブロック群全体の分布範囲の限界をとらえることができた。これにより規模が南北67m×東西60mであることが判明し、今後の国史跡指定に向けての基本資料の集積を図ることができた。 併せて有識者による調査指導委員会を継続して開催し、今後の調査・研究に係る課題の整理・検討を行った。また、補助金を活用し、墨古沢南 I 遺跡の展示会を9月から、奈良二彩の展示会を8月から開始し、継続している。		
課題・問題点	発掘調査等成果のさらなる資料の集積や有識者に調査指導・分析を受けるなど、国史跡指定に向けての遺跡の価値づけを十分に進めていく必要がある。 併せて遺跡の周知・普及活動や今後の利活用の方向性も考えていく必要がある。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する (復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	<div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 5px;"></div>
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

	担当課	中央公民館
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	
主な事業	しすい青樹堂の開催、青樹堂師範塾の開催	
事業の概要	特別講座として「しすい青樹堂」及び「青樹堂師範塾」を開講した。 また、外国人を対象とした「コスモス会 日本語教室」、その他短期間で行う 一般講座や町民文化祭等の自由講座を開講する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		471	1,179
	しすい青樹堂（2年制）では、4期生10名が卒業し、5期生12名が1年目の学習 過程を修了した。青樹堂師範塾は、2期生12名が卒業した。 コスモス会日本語教室では、22名の参加があった。 また、その他一般講座では、55名の参加があった。 個別の受講者数は少ない状況であるが、一定の事業効果はあったと考える。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 受講希望者は、多いといえる状況ではなく、より住民ニーズにあった講座を 開講できるよう、講座内容を見直し、学習機会の拡充及び学習活動の支援に努 めたい。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	_____ _____ _____
---------	-------------------------

平成29年度 教育施策評価表

	担当課 中央公民館
分野	2 社会教育
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備
主な事業	公民館の維持管理及び改修・公民館施設耐震補強
事業の概要	中央公民館は学びの場として36年が経過しています。そのため施設設備の老朽化が激しいことから、トイレ16か所の改修及び非常用発電装置の更新工事を行い利用者が安全・安心して利用できるよう施設環境の整備を図ります。また、講堂棟・研修棟の耐震補強を実施中であり、施設の安全性、耐震性能を強化いたします。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		15,957	83,076
	平成28・29年度の2か年で公民館の耐震補強工事を実施しました。 (28年度15,957千円、29年度74,608千円、合計90,565千円)		
	トイレの洋式化工事を実施しました。(6,660千円)		
	その他として、講堂棟冷暖房の修理工事他を実施しました。(1,808千円)		
	非常用発電装置の更新ですが、入札が不調となり、改めて30年度で実施予定です。 (12,615千円)		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。) 耐震工事は終了しましたが、高圧電気、発電機の改修等が必要であり、計画性をもって今後実施していきます。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

		所属名 学校給食センター
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の充実	
主な事業	食材放射線測定	
事業の概要	放射線濃度が国の基準を満たし流通したものであっても、更に町独自で下限値を定め測定することにおいて給食食材の安全性を高め、ホームページにおいて公表することで安心な給食提供に努める。 酒々井町放射線測定器（ガンマスペクトロメーター）計測によりセシウム濃度50ベクレル以上は使用を取りやめ、精密検査機関において検査実施。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		223	226
	・毎回2品目（主菜1品目、副菜1品目）を週3回測定することを原則とし、当日使用する食材の中から選定し検査する。 ・平成29年度検査実施回数115回（230検体）を実施した。全て酒々井町の定める基準を下回り、安全が確認できた。 ・簡易測定器導入 平成24年5月（機器購入費3,211千円）		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） _____ _____		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	_____ _____ _____
---------	-------------------------

平成29年度 教育施策評価表

		所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進		
主な事業	栄養士による栄養指導①		
事業の概要	小学1年生から6年生までの各クラスにおいて、学年に応じて「食」のテーマを設け、食に関する興味関心を高めるよう努める。 また、中学1年生対象に、生活リズムや食生活の乱れから陥りやすいからだの不調を予防するため「生活習慣病予防講習会」を行う。		

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		0	0
	・小学校では、給食時間前15分を利用し、学年に応じたテーマの授業を栄養教諭が直接行うことで、食に関する知識、興味、関心を持たせるよう努めた。 ・中学校では、給食委員会が11月の食育週間(11/6~10)と位置付けにクラス毎に全メニューの残菜調査等を実施した。その結果を基に適切な栄養と健康管理、食に関する正しい理解、環境問題など考えるきっかけづくりとなった。 ・給食センターで調理しているメニューの残菜状況は年々減少している。特に主菜(肉・卵など)は食べるが、副菜(野菜中心のおかずや汁物)は残りが多かった。6月~9月の暑い時期は残りやすく、4月や3学期は残菜が少ない傾向がみられた。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する(復活の可能性あり) 事業をやめる
--------	---	--



評価委員の意見	
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

所属名 学校給食センター

分 野	1 学校教育
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進
主な事業	栄養士による栄養指導②
事業の概要	小学5・6年生及び中学2年生の家庭科の調理実習等に栄養教諭がT.T(チームティーチング)として参加することで、より栄養面で専門的な視点から児童生徒の食に関する指導を行う。また、中学校の運動部代表者を対象に部活中に陥りやすい熱中症予防対策やスポーツをする時に必要な栄養素を指導することで、事故を防ぎ身体能力を上げるためのサポートを行う。

3月末の状況

取組状況(達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		0	0
	・小学校5・6年及び中学校2年生の家庭科の調理実習等の授業に栄養教諭が参加することできめ細やかな授業ができた。 ・小学校6年生や中学校3年生では、栄養バランスの取れた献立づくりの授業にも栄養教諭が参加し、クラス単位で作成された献立は「リクエスト献立」として学校給食のメニューに取り入れた。 ・中学校の部活動代表者を対象に熱中症予防対策や運動時に必要な栄養素について指導した。その際、顧問も同席し他の部員への周知も代表者や顧問から実施している。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	_____ _____ _____
---------	-------------------------

平成29年度 教育施策評価表

所属名 学校給食センター

分野	1 学校教育
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進
主な事業	食物アレルギー対応
事業の概要	平成27年度に文部科学省から示された食物アレルギー対応指針に基づき児童・生徒の安全安心を最優先に国が表示を義務付けている原因食物7品目に加え表示を推奨している20品目について除去食、お知らせを提供する。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		0	0
	・平成29年度から食物アレルギーの原因食物について、国が表示を義務付けている7品目と表示を推奨している20品目(計27品目)に対応することとし、量や調理方法にかかわらず完全除去と改めた。 ・事業の概要に基づいた対象者は15名おり、食物アレルギー原因食物27品目の内20品目に対応したお知らせや除去食の提供を行った。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。) ・食物アレルギーのある児童等は年々増加し原因食物も多岐にわたっている。しかし、当町の学校給食センターは食物アレルギー対応専用の施設がない中で実施しているため、原因食物の混入防止に苦慮している。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する(復活の可能性あり) 事業をやめる
--------	---	--



評価委員の意見	食物アレルギー専門対応施設がない中、個別対応をしており評価できるが、限られた中で食材の混在等のないよう、引き続き安全でおいしい給食の提供に努めてください。
---------	---

平成29年度 教育施策評価表

所属名 学校給食センター

分野	1 学校教育
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進
主な事業	地元食材の積極的な活用
事業の概要	酒々井町農業生産者との連携を図り、収穫される米や野菜や加工品を積極的に使用し地産地消の推進に努める。そして、新鮮で美味しい給食の提供や野菜から摂取できる栄養素の多い且つ、バランスの良い給食の提供に努める。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		7,650	7,242
	・学校給食で使用する米はすべて酒々井町産コシヒカリ1等米を使用した。 ・野菜は、生産者と連絡を密にし収穫できる野菜の種類や時期、量を把握しながら給食に取り入れた。使用状況は献立表に記載し、広報にも努めた。 ・学校給食で使用した米、野菜、加工品(味噌)における地元食材の使用状況は42.04%(前年度比+1.93%)だが、野菜だけでは4.90%(前年度比-0.86%)と減少した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。) ・学校給食用野菜の提供ができる農家数が減り、また天候不順などの影響で使用量や質が揃わないことがあった。地元野菜の生産者から新規生産者の加入方法も検討しているとの情報もあるので、引き続き連絡を密に取りながら実施していく。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	----- ----- -----
---------	-------------------------

平成29年度 教育施策評価表

	所属名
	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育
重点的な取組	(3) 学習関連施設の整備
主な事業	プリミエールの管理運営及び施設拡張
事業の概要	経年により修繕やメンテナンス、機器の更新等が生じているため、利用者へ支障を来さぬよう施設の適正な管理運営に努める。 多世代が共生できる地域社会の一点を目指して、多目的フロア及び会議室(延床面積225㎡)の増築を行う。

3月末の状況

取組状況(達成度)	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費(千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		23,975千円	28,479千円
	(主な修繕) 空気調和機及び熱源差圧自動制御機器修繕、自動ドア装置交換修繕、事務室エアコン修繕、書庫換気扇修繕、井戸散水栓修繕、エントランス庇修繕 (増築工事) 4度の入札を行ったにもかかわらず、契約に至ることができなかったため、事業実施を断念し、内閣府に対して交付金事業中止の申し入れを行った。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。) (増築工事) 町議会の意思を重く受け止めつつ、事業実施の機会を見極めていくこととする。		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--

平成29年度 教育施策評価表

	所属名
	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援
主な事業	図書等の拡充・読書通帳の発行・おはなし会の開催
事業の概要	利用者の多様化するニーズに対応するため、幅広い分野の資料収集に努める。 「酒々井町子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが読書に親しむ機会の提供と充実を図る。

3月末の状況

取組状況 (達成度)	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費 (千円)	平成28年度決算額	平成29年度決算見込額
		4,570千円	4,566千円
	平成29年度購入数：図書2,557冊、AV55点 実施事業：おはなし会(毎月2回)、わらべうたの会(毎月1回)、多読表彰式(幼児2名、小学生8名表彰)、酒々井紙芝居の会による紙芝居の上演、「図書館報」発行(年4回)、夏休み子ども教室(化石レプリカ教室:小学生28名、土器ッと古代教室:小学生14名)、図書館講演会(おはなしおぼさんのワクワクおはなし会:82名)、「読書通帳」発行		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		



今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する(復活の可能性あり)
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



評価委員の意見	
---------	--